

12月定例会

令和7年12月定例会が、12月3日から16日までの14日間の会期で開かれました。開会日に鈴木和夫市長より議案における提案理由の説明がなされ、一般質問では15名の議員がそれぞれ市の考えを質しました。

市長提出議案は40件で、令和7年度補正予算、複合施設関連の条例制定、専決処分2件、人事案件3件などを審議し、いずれも原案のとおり可決または同意されました。

今号では定例会の概要と注目する主な事業（2頁）、請願・陳情・人事案件・各議案の採決結果（3～4頁）、各常任委員会での審議内容と委員会視察レポート（5～8頁）を主にお知らせします。

議案ピックアップ

- ◆市長提出議案……40件
（うち人事案件……3件は4頁）
- ◆請願・陳情 ……6件
（請願3件、陳情3件）
- ◆議員提出議案
（意見書案）……5件

全ての議案の審査結果は市議会ホームページをご覧ください。



《 12月定例会において補正された一般会計予算の総額 》

6億9,735万8千円

・主な事業内訳・

◆物価高対応子育て応援事業 1億6,163万3千円

物価高の影響を受ける子育て世帯を支援するため、こども一人あたり2万円を給付する（財源は国100%、事務費は163万3千円）

◆職員給与関係費等 9,629万6千円

◆会計年度任用職員関係費 3,763万3千円

福島県人事委員会勧告に準じ、特別職、議員、一般職および会計年度任用職員の給与を改定するための経費

◆ふるさと応援事業 9,999万8千円

上半期のふるさと納税の寄付が好調であったため、寄付者への返礼等に係る経費を追加するため



ふるさと納税返礼品

1月臨時会

令和8年1月臨時議会が、1月15日の1日間の会期で開かれ、一般会計補正予算、下水道事業会計補正予算の2件を審議し、いずれも原案のとおり全会一致で可決されました。

・主な事業内訳・

◆物価高対応子育て応援事業 4,000万円

物価高の影響を受ける子育て世帯を支援するため、国で定めたこども一人あたり2万円に、市独自に5千円を上乗せして給付する。

給付は2月10日（児童手当の支給日と同日）※申請の必要な方は申請後の支給となります。

◆物価高騰対策生活支援商品券事業 4億7,649万8千円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰に対応するため、小売店や飲食店等で使用できる商品券を全市民に配布する。

市民一人あたり : 商品券8,000円